

下痢をする病気

症状

- ・下痢の原因は様々ですが、下痢は基本的に、体に悪い物を外に出すという生理反応です。
- ・通常は便の水分が多くなった状態を言い表します。
- ・下痢になると、腹痛を伴い便の回数も増えます。

治療

- ・下痢が3日以上続く場合や嘔吐・発熱などの症状もともなう場合、水のような激しい下痢の場合は医療機関の受診が必要です。
- ・下痢は通常、体に入ったウィルスや病原菌を体の外に出すための正常な防御反応です。
- ・そのため無理に薬で止めることはよくないと考えられています。
- ・下痢で水分を奪われる可能性がありますので、こまめに水分補給を行いましょう。

家庭で注意すること

- ・食べ過ぎが原因の下痢は、消化不良を起こし下痢になります。食べすぎは控えましょう。
 - ・ストレスが原因でおこる下痢は一過性のものならまず心配はありません。1～2日様子を見て、治まる傾向ならそのまま大丈夫でしょう。
- ストレスが原因で起こる下痢の場合は、
- ・腸内環境の悪化が原因で起こる慢性的な下痢
 - ・冷えが原因でおこる下痢は、自律神経の乱れによって起こります。原因は、腸をコントロールする神経がお腹の冷えにより刺激を受けて、腸が異常収縮してしまうためです。腸を通る便の水分が十分に吸収されずに排出されるため、下痢になります。まずは、冷たい飲み物、食べ物を避け体の芯から温まる食事を心がけましょう。

急患診療センターを受診するめやす

- ・ひどい下痢が続く、血便が続く下痢、高熱が出る下痢、海外旅行から帰って来ても下痢が続く場合は急患診療センターなどを受診しましょう。
- ・こうした下痢は、時には命にかかわる病気が潜んでいる場合もあります。